

# 北海道におけるスマート農業最前線

- スマートアグリシティの実現に向けて -

## 【開催趣旨】：

北海道における基幹産業が農業であることはいまでもなく、小麦、馬鈴薯など多くの畑作物、野菜、生乳生産量が都道府県別で全国第1位を占め、日本最大の食料供給地域としての重責を果たしている。（実際に経営規模も販売農家は2018年の1戸当たり経営耕地面積は28.9haに達し、都府県の2.2haの13.1倍である。）しかし、道内の販売農家戸数は都府県同様1990年以降減り続け過去30年間で40%以上減少した。さらに農家の高齢化とともに新規就農者数も減少傾向にある。当然、農家1戸あたりの平均経営耕地面積は増加し、労働力不足はすでに深刻な状況にある。このような背景から農業ロボットなどスマート農業の導入は農家の強い要望である。近年道内ではスマート農業に関する研究開発、技術実証などの事業が盛んに行われている。そこで本講演会では、道内において行われているスマートアグリシティの実現に向けた研究開発・実証事業の最新動向を紹介する。

【日時】：2021年11月15日(月) 13:00～16:00 (Zoom参加開場 12:30～)

【会場】：オンライン配信 (Zoom) ※参加方法は、申込者にメールにてお知らせします。

## 【講演】：

13:00 開会挨拶 北海道高度情報化農業研究会 会長 小田原輝和氏

13:10-13:25 基調講演 「北海道におけるスマート農業に関する最近の話題」

北海道大学大学院農学研究院 教授 野口伸氏

13:25-14:30 「岩見沢市におけるスマート農業の社会実装に向けた取組み」

① 「岩見沢市の取組み」

岩見沢市 情報政策部長 黄瀬信之氏

② 「ローカル5G実証事業」

東日本電信電話株式会社 北海道事業部ビジネスイノベーション部長 澤出剛治氏

③ 「岩見沢市・NTTグループ・北海道大学連携事業」

日本電信電話株式会社 研究企画部門食農プロデュース担当部長 久住嘉和氏

(14:30-14:40) 休憩

14:40-15:10 「かぼちゃ収穫ロボットの開発」

～SIP(スマートバイオ産業・農業基盤技術～

北海道大学大学院農学研究院 准教授 岡本博史氏

15:10-15:50 「ワイン用ブドウ生産のスマート化」

① 「イノベーション創出強化研究推進事業」

北海道大学大学院農学研究院 教授 野口伸氏

② 「スマート農業実証(ローカル5G)プロジェクト」

東日本電信電話株式会社 ビジネスイノベーション部 カスタマーリレーショングループ担当部長 小原直人氏

15:50-16:00 閉会挨拶

【参加費】：一般…4,000円、主催・共催団体の会員、官公庁・自治体…無料

(参加費の請求は**開催後**に請求書をご連絡いたします。お支払い方法：銀行振込)

【お申込・詳細】：次のアドレスに掲載のWebフォームよりお申し込みください

<https://h-sangakukan.jp/events/3471>

【主催】：一般社団法人北海道産学官研究フォーラム

【共催】：北海道高度情報化農業研究会、特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会、産学官 CIM・GIS 研究会、北海道 MaaS 推進研究会、北海道ドローン協会

【後援依頼先】：一般社団法人建設コンサルタンツ協会北海道支部、一般社団法人北海道建設業協会、地理情報システム学会北海道支部、他

【連絡先】：一般社団法人北海道産学官研究フォーラム (担当 藤原) E-mail: info@h-sangakukan.jp